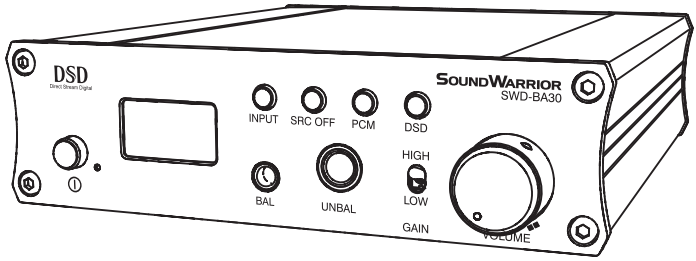
SOUNDWARRIOR

USB DAC 内蔵 バランスヘッドホンアンプ

SWD-BA30

取扱説明書



目　　次

安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
ご使用の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
特長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

接続例 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

各部の名前
・前面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
・背面 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

接続のしかた
・ヘッドホンを接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
・パワーアンプとスピーカーを接続する ・・・・・・・・・・・・・・・ 9
・アクティブスピーカーを接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
・パソコン、スマートフォン、タブレットを接続する ・・・・・・・・・ 9
・外部機器を接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
・AC アダプターを接続する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

基本操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

設定のしかた
・Windows パソコンの設定をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
・Mac の設定をする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17

再生のしかた
・パソコンで再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
・外部機器で再生する ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

サンプリング周波数およびフォーマット ・・・・・・・・・・・・・・ 24

設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

お困りのときは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
主な仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
保証規定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
アフターサービス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

安全上のご注意

安全上の表示説明
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	⚠注意
誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

△注意 注意すること	⃠禁止 してはいけないこと	●指示 必ず行うこと

⚠警告


AC アダプターを
コンセントから抜く

異常が発生したらすぐに AC アダプターをコンセントから抜く
● 煙やにおい、異音がするとき
● 機器に水がかかったとき
● 落としたり破損したりしたとき
直ちに使用を中止し、販売店へ修理を依頼してください。


風呂場での使用禁止

風呂場やシャワー室で使用しない
内部に異物や水が入ると感電・火災の原因となります。


水濡れ禁止

屋外で使用しない
花瓶や液体の入った容器をそばに置かない
内部に異物や水が入ると感電・火災の原因となります。


分解禁止

カバーやパネルを外さない
改造しない
火災・感電の原因となります。


禁止

本機や AC アダプターの放熱を妨げない
布をかけたり、狭い場所や通気性の悪い場所に設置したりしないでください。
火災の原因となります。

電源コードを傷つけない
電源コードの上に重いものを載せたり、無理に曲げたりしない
コードの破損により、火災・感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら触れない
感電の原因となります。


禁止

長時間、大音量で聴かない
聴覚障害の原因となります。

⚠ 警告


指示

AC アダプターはコンセントに確実に差し込む
AC アダプターのプラグは定期的に清掃する
プラグとコンセントの周囲にほこりが付着すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意


ぬれた手で触れない

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししない
感電の原因となります。

電源に付属の AC アダプター以外は使用しない
火災や感電、故障の原因となります。

AC アダプターを抜くときはコードを引っ張らない
コードが損傷し、火災・感電の原因になります。


禁止

不安定な場所に設置しない
落下によるけがの原因となります。

湿気やほこりが多い場所に設置しない
調理台や加湿器のそば、油煙や湯気が当たる場所などに設置しない
火災・感電の原因になることがあります。

長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜く


指示

接続する音響機器は取扱説明書に従って使用する

電源を切る前に音量を最小にする
音量を絞ってから入力機器を接続する
電源を入れた時に大きな音が出ると、聴覚障害や機器の故障の原因となります。

ご使用の前に

お買い上げいただきありがとうございます。本機をご使用になる前に、この取扱説明書をお読みください。またお読みになったあとは、この「取扱説明書」は大切に保管してください。

1 付属品

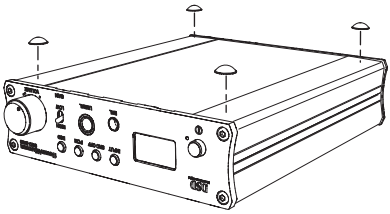
本製品に同梱の付属品をご確認ください。

● AC アダプター　1 個　● USB ケーブル（Type-C to Type-C）　1 本
● 光デジタルケーブル　1 本　● ゴム足　4 個　● 取扱説明書（本書）　1 冊

※付属のケーブルで接続できない場合は、ご使用の外部機器に合わせて必要な接続ケーブルを別途ご用意ください。

2 ゴム足を取り付ける

付属のゴム足を本体の底面に貼りつけてください。



3 設置する

ラジオやテレビの音声に雑音が入ったり、画像が乱れたりする場合は、ラジオ、テレビ、チューナー、室内アンテナなどから本機を離して設置してください。

4 お手入れのしかた

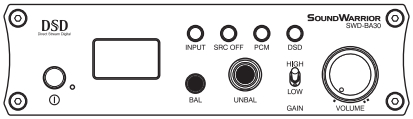
お手入れには乾いた柔らかい布を使用してください。シンナーやベンジン、アルコールなどは使用しないでください。

特長

本機はデスク周りに無理なく設置可能なコンパクトUSB DAC/ヘッドホンアンプです。USB、光、同軸と3系統のデジタル入力端子に加え、アナログ入力(LINE)も1系統備えており、パソコンやスマートフォン、デジタルオーディオプレーヤーなど様々な再生機器と接続可能です。サンプリングレートコンバーター(SRC)機能では、入力したデジタル音声信号を任意の周波数にアップサンプリングして音の変化を楽しむことができます。また、ヘッドホン出力は4.4mmバランス、6.3mmステレオ標準の2系統を備え、幅広いイヤホン・ヘッドホンでのリスニングをお楽しみいただけます。

接続例

前面

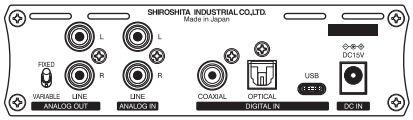




ヘッドホン
6.3mm

イヤホン
4.4mm

背面



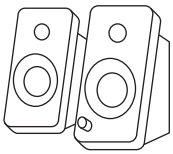
付属の AC アダプター



AC100V

Ⓐ

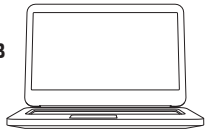
LINE



・パワーアンプ
・アクティブスピーカー

Ⓑ

USB



パソコン

Ⓒ

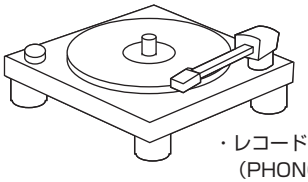
OPTICAL



光デジタル音声出力端子付き
・DVD プレーヤー
・BD プレーヤー
・テレビ

Ⓐ

LINE



・レコードプレーヤー
（PHONO イコライザー付き）

Ⓓ

COAXIAL

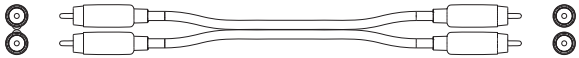


同軸デジタル音声出力端子付き
・CD プレーヤー
・デジタルレコーダー

接続ケーブル

※付属のケーブルで接続できない場合は、ご使用の外部機器に合わせて
必要な接続ケーブルを別途ご用意ください。

Ⓐ RCAオーディオケーブル



Ⓑ USBケーブル（Type-C to Type-C）



Ⓒ 光デジタルケーブル（OPTICAL）

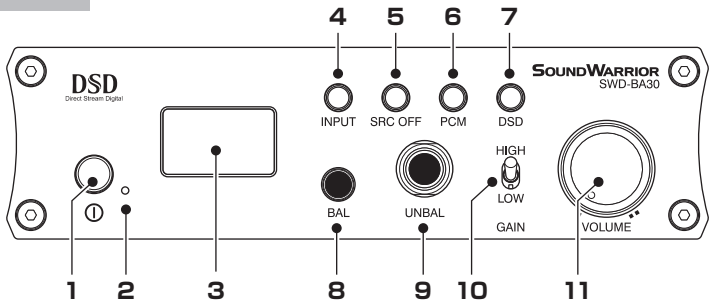


Ⓓ RCA同軸デジタルケーブル（COAXIAL）



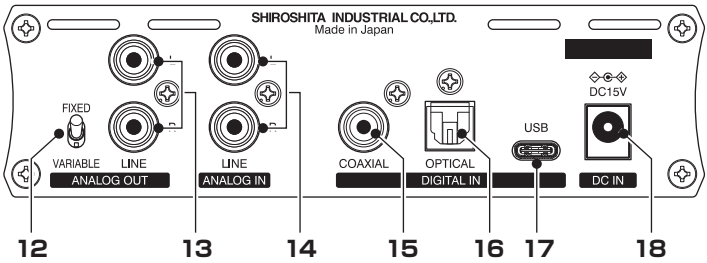
各部の名前

前面



1. 電源スイッチ（ ⏻ ）	電源の入 / 切をします。
2. 電源ランプ	電源が入ると点灯します。
3. ディスプレイ	各種情報を表示します。
4. INPUT	**入力ソース切替ボタン**　再生する入力ソースを切り替えます。 入力ソース名は背面の端子名に対応しています。 ・USB : USB 端子に切り替えます。 ・OPTICAL : 光デジタル音声入力端子に切り替えます。 ・COAXIAL : 同軸デジタル音声入力端子に切り替えます。 ・LINE : アナログ音声入力端子に切り替えます。
サンプリングレートコンバーター	
5. SRC OFF	**SRC OFF ボタン**　・短押し：サンプリングレート変換（SRC）が無効となります ・長押し：「設定モード」になり各種機能を変更できます。
6. PCM	**PCM ボタン**　・PCM フォーマットでサンプリングレートを変換します。 ・「設定モード」中は設定値を変更します。
7. DSD	**DSD ボタン**　・DSD フォーマットでサンプリングレートを変換します。 ・「設定モード」中は設定値を変更します。
ヘッドホン端子	
8. BAL	**バランスヘッドホン端子**　4.4mm 5 極プラグのヘッドホンを接続します。
9. UNBAL	**アンバランスヘッドホン端子**　6.3mm ステレオ標準プラグのヘッドホンを接続します。 ※UNBAL と BAL の同時接続はバランスが崩れます。同時接続はしないでください。
10. GAIN	**ゲイン切替スイッチ**　ヘッドホン出力のゲインを切り替えます。
11. VOLUME	**音量調節つまみ**　音量を調節します。 ※背面の「FIXED/VARIABLE」スイッチが「VARIABLE」の時は、LINE 出力音声も調節できます。

背面



ANALOG OUT

12. FIXED/VARIABLE	**音声出力の固定／可変スイッチ**　アナログ音声出力端子の出力レベルを固定または可変に設定できます。 ※ヘッドホン端子は常に出力レベル可変です。出力レベル固定にはなりません。
13. LINE	**アナログ音声出力端子**　アナログ音声入力端子付きの機器を接続します。

ANALOG IN

14. LINE	**アナログ音声入力端子**　アナログ音声出力端子付きの機器を接続します。

DIGITAL IN

15. COAXIAL	**同軸デジタル音声入力端子**　同軸デジタル音声出力端子付きの機器を接続します。
16. OPTICAL	**光デジタル音声入力端子**　光デジタル音声出力端子付きの機器を接続します。
17. USB	**USB 端子**　パソコンやスマートフォンを接続します。
18. DC IN (DC15V)	**電源入力端子**　付属の AC アダプターを接続します。

接続のしかた

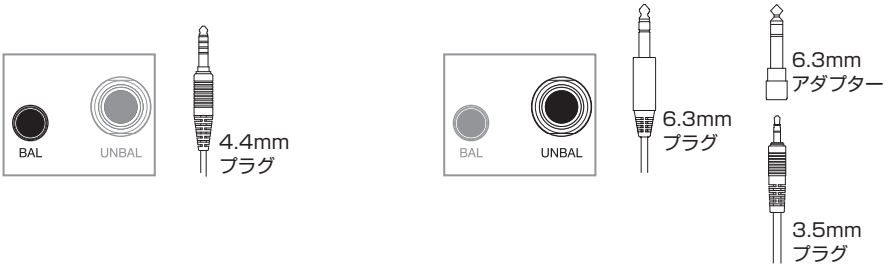
ヘッドホンを接続する

● ヘッドホン端子（BAL / UNBAL）

【注意】バランスが崩れますので、BAL と UNBAL の同時接続はおやめください。

・**BAL 端子**：4.4mm バランスステレオプラグのヘッドホンを、本機の BAL ヘッドホン端子に接続します。

・**UNBAL 端子**：6.3mm ステレオ標準プラグのヘッドホンを、本機の UNBAL ヘッドホン端子に接続します。3.5mm ステレオミニプラグのヘッドホンの場合は、6.3mm−3.5mm オーディオ変換アダプターを別途ご用意ください。



GAIN の設定

本機のゲイン切替スイッチを、お使いになるヘッドホンのインピーダンスにあわせて、「LOW（低）」または「HIGH（高）」のどちらかに切り替えます。

ヘッドホンインピーダンスの目安
・LOW(低)　16Ω以上 250Ω未満
・HIGH(高)　250Ω以上



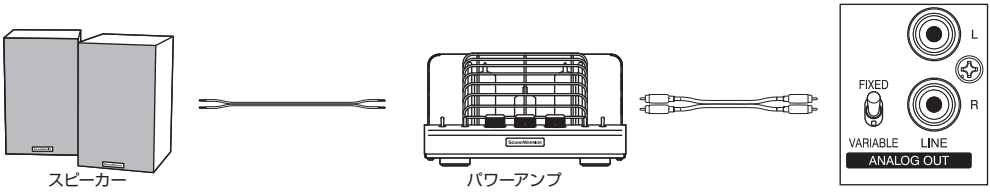
上記の目安に関わらず、LOW 設定で音量が小さいと感じられる場合は、HIGH に切り替えてご使用ください。

注意
・音量を上げた状態でヘッドホンを接続することはおやめください。

パワーアンプとスピーカーを接続する

● ANALOG OUT 出力端子

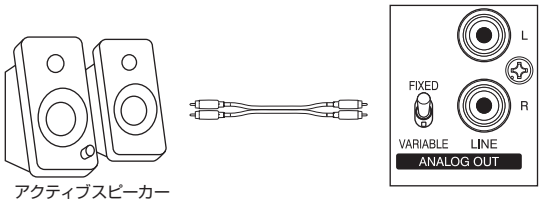
スピーカーに接続するには、パワーアンプが必要です。パワーアンプのライン入力端子と、本機の ANALOG OUT（LINE) 端子を接続します。市販の RCA オーディオケーブルを使用し、端子とケーブルを同じ色（白と白、赤と赤）で接続します。



アクティブスピーカーを接続する

● ANALOG OUT 出力端子

アクティブスピーカーに接続するには、アクティブスピーカーのライン入力端子と、本機の ANALOG OUT（LINE) 端子を接続します。市販の RCA オーディオケーブルを使用し、端子とケーブルを同じ色（白と白、赤と赤）で接続します。

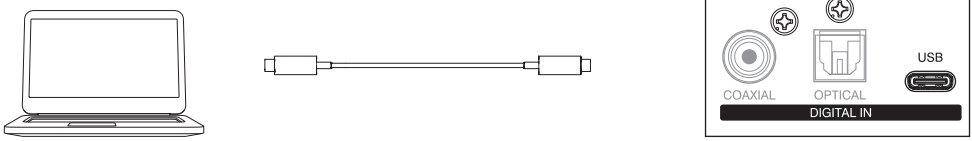


パソコン、スマートフォン、タブレットを接続する

● USB 端子

パソコンなどの USB 端子付きの機器を USB ケーブルで接続します。

※付属の USB ケーブル（Type-C to Type-C）で接続できない場合は、データ通信に対応したUSB Type-C ケーブル（長さ 2m 以下）を別途ご用意ください。



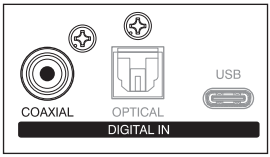
外部機器を接続する

● COAXIAL 入力端子

同軸デジタル音声出力端子付きの CD プレーヤーなどを接続します。市販の RCA 同軸デジタルケーブルで接続します。





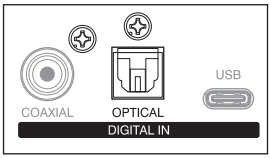


● OPTICAL 入力端子

光デジタル音声出力端子付きの DVD プレーヤーなどを接続します。付属の角型光デジタル (TOS-Link) ケーブルで接続します。







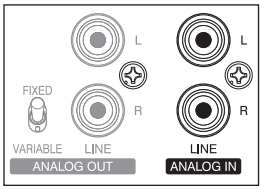
※丸ピン型の光デジタルケーブルは使用できません。

● LINE 入力端子

アナログ音声出力端子付きの機器を接続します。
市販の RCA オーディオケーブルを使用し、白いプラグは L 端子へ、赤いプラグは R 端子へ接続します。





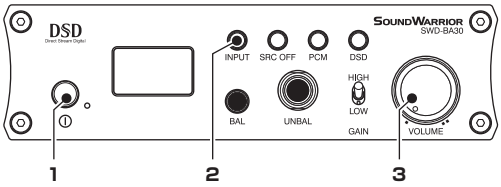


AC アダプターを接続する

付属の AC アダプターを電源入力端子（DC IN）に接続し、家庭用電源コンセントに差し込みます。

基本操作

※Windows パソコンで ASIO を使用して再生する場合は、本機との接続前に「専用ドライバー」のインストールが必要です。



1 電源を入れる

本機の ⏻ を押して電源を入れます。
電源が入ると電源ランプが点灯します。

2 音源を選ぶ

「INPUTボタン」を短押しして、再生する入力ソース（音源）を選びます。ボタンを押すごとに USB➡OPT➡COAX➡LINE➡USB とディスプレイの表示が変わります。



3 接続先の外部機器を操作する

接続先の外部機器を操作します。
Windows パソコンでハイレゾ PCM 音源や DSD 音源を再生するには、音源に対応した再生ソフトのインストールが必要です。

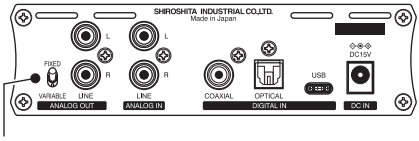
4 音量を調節する

「音量調節つまみ」で音量を調節します。

5 電源を切る

本機の ⏻ を押して電源を切ります。

FIXED/VARIABLE（音声出力の固定／可変スイッチ）



音声出力の固定／可変スイッチ

ANALOG OUT出力端子からの音声出力レベルを、FIXED(固定)またはVARIABLE(可変)を選べます。
※ヘッドホン端子（BAL / UNBAL）は常に出力レベル可変です。固定にはなりません。

・**FIXED**：音声出力レベルが固定され、「音量調節つまみ」の位置に関係なく最大音で出力されます。
外部パワーアンプなどに接続した際に、外部パワーアンプやアクティブスピーカー側で音量調節できます。

・**VARIABLE**：音声出力レベルが可変となり、「音量調節つまみ」で音量が調節できます。

設定のしかた

Windows パソコンの設定をする

パソコン内に保存されている音楽ファイルを再生するには、下記の動作環境やパソコン側の設定を行う必要があります。

動作環境

Microsoft Windows 10 64bit 版、Windows 11
※新しい OS への対応状況については製品ページをご覧ください。
SWD-BA30 製品ページ　https://soundwarrior.jp/products/swd-ba30/

専用ドライバー

Windows パソコンで ASIO による再生を行う場合は、パソコンとの接続前に専用ドライバーのインストールが必要です。またその場合は、ASIO に対応した再生ソフト（foobar2000、JRiver Media Center、Audirvana、Music Center for PC など）を別途インストールしてください。Web ブラウザの動画や音楽ストリーミングサービスでお聞きの場合は専用ドライバーのインストールは不要です。

1、古いドライバーをアンインストールする

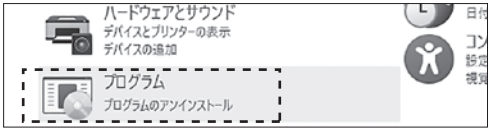
すでに旧バージョンの SIC USB Audio ドライバーがインストールされていないかどうかご確認ください。古い SIC USB Audio ドライバーが見つかった場合は、初めにアンインストールしてください。

1 **本機とパソコンが USB 接続されていないことをご確認ください。**

2 スタートメニューから、[Windows システムツール] の [コントロール パネル] を開きます。



3 「コントロール パネル」内で、「プログラムのアンインストール」（または「プログラムと機能」）を選択し、一覧画面を開きます。





4 一覧から「SIC USB Audio」を選択し、上部にある「アンインストール」をクリックします。



5 「SIC USB Audio をアンインストールしますか?」の画面が表示されたら [はい (Y)] をクリックします。



6 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」確認画面が表示されたら [はい] をクリックします。



7 アンインストーラーが起動し、削除処理が実行されます。



アンインストール完了のメッセージが表示されたら、必ず**パソコンを再起動**してください。

2、専用ドライバーをインストールする

SOUND WARRIOR WEB サイトから専用ドライバーをダウンロードし、
下記手順に沿ってインストールしてください。
【SWD-BA30】Windows 用対応 ASIO ドライバー　https://soundwarrior.jp/dlm-sed/

1 **本機とパソコンが USB 接続されていないことをご確認ください。**

ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、[開く (O)] をクリックし、展開（解凍）します。

2 SICAudio.exe のアイコンを右クリックし、[開く (O)] をクリックし、実行してください。



3 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」で [はい] をクリックします。



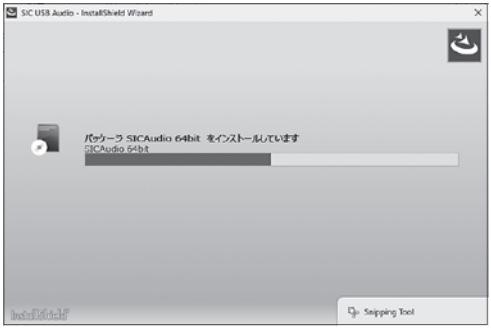
4 言語を選択（例：日本語）し、[次へ (N)] をクリックします。



5 ［インストール (I)］をクリックします。



6 インストーラーが起動します

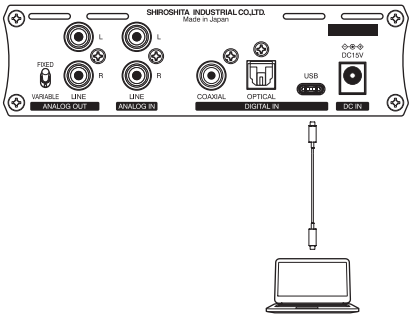


7 インストール完了のメッセージが表示されたら、「完了 (F)」をクリックして終了し、パソコンを再起動します。



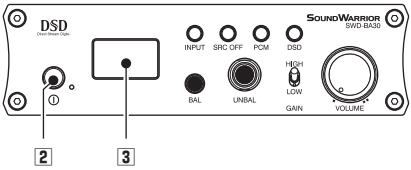
3、Windows パソコンと接続する

1 本機の電源を切った状態で、本機の USB 端子と Windows パソコンを付属の USB ケーブル（Type-C to Type-C）で接続します。
※付属の USB ケーブル（Type-C to Type-C）で接続できない場合は、データ通信に対応した USB Type-C ケーブル（長さ 2m 以下）を別途ご用意ください。



2 本機の「電源スイッチ」を押します。

3 「INPUTボタン」を押して、ディスプレイに「USB」が表示されるように選択します。



接続状態のディスプレイ表示は下の通りです。
・接続されているが音声入力がない：No Input 表示
・接続されていない：No Connection 表示
・Setting UAC で 1.0 に設定している場合、接続されると UAC1 表示



4 **パソコンから本機が正しく認識されているかの確認をします。**

パソコン画面のスタートボタンを右クリックし「デバイスマネージャー（M）」を選びます。



5 「サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー」を展開し、本機を確認します。

「SWD-BA30」が表示されていたら、本機が正しく認識されています。



Mac の設定をする

Mac 内に保存されている音楽ファイルを再生するには、下記の動作環境や Mac 側の設定を行う必要があります。新しい OS への対応状況については製品ページをご覧ください。
SWD-BA30 製品ページ　https://soundwarrior.jp/products/swd-ba30/

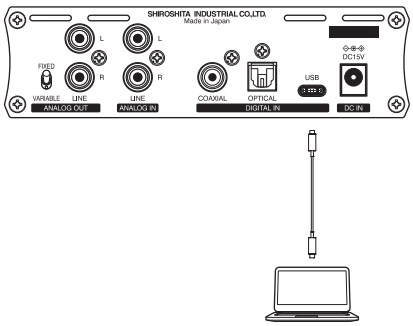
動作環境

・macOS Sonoma (14)、macOS Sequoia (15)、macOS Tahoe (26)
※上記の macOS より新しいバージョンにアップグレードした場合、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

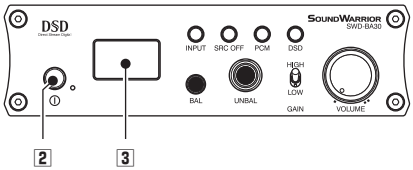
1、Mac と接続する

1 本機の電源を切った状態で、本機の USB 端子と Mac を付属 USB ケーブル（Type-C to Type-C）で接続します。

※付属の USB ケーブル（Type-C to Type-C）で接続できない場合は、データ通信に対応した USB Type-C ケーブル（長さ 2m 以下）を別途ご用意ください。



2 本機の「電源スイッチ」を押します。



3 「INPUTボタン」を押して、ディスプレイに「USB」が表示されるように選択します。

接続状態のディスプレイ表示は下の通りです。
・接続されているが音声入力がない：No Input 表示
・接続されていない：No Connection 表示
・Setting UAC で 1.0 に設定している場合、接続されると UAC1 表示







2、Mac のサウンドを設定する

1 **本機が Mac に USB ケーブルで接続され**
電源が入っているのを確認します。

「システム環境設定」を開きます。「サウンド」を開きます。





2 「出力」タブを開きます。
「SWD-BA30」を選択してください。



3、Audio MIDI を設定する

1 **本機がMacにUSBケーブルで接続され**
電源が入っているのを確認します。

「LaunchPad」を開きます。「その他」を開きます。





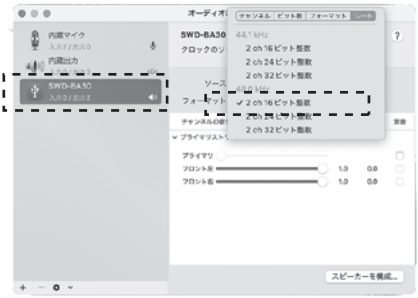
2 「Audio MIDI 設定」を開きます。



3 「SWD-BA30」を選びます。

4 お好みのサンプリング周波数を選択してください。

「ミュージック」アプリやWebブラウザの音声を聴く場合、サンプリング周波数はMacの設定に依存するので、Mac側で設定をします。

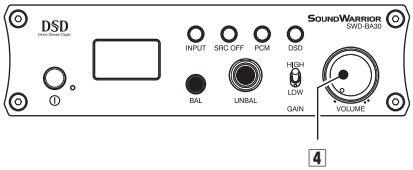


※ JRiver Media Center、Audirvanaなど一部の再生ソフトは、Macのサンプリング周波数設定の影響を受けないため、この設定は不要です。

再生のしかた

パソコンで再生する

本機とパソコンを初めて接続する場合は、ドライバーのインストールや再生ソフトのセットアップが必要な場合があります。
・Windowsパソコンをお使いの場合は、「Windowsパソコンの設定をする」を参照してください。
・Macをお使いの場合は、「Macの設定をする」を参照してください。



● USB

1 本機の「電源スイッチ」を押します。

2 「INPUTボタン」を押して、ディスプレイに「USB」が表示されるように選択します。
USB端子に接続したパソコンを操作します。

接続状態のディスプレイ表示は下の通りです。
・接続されているが音声入力がない：No Input 表示
・接続されていない：No Connection 表示
・Setting UAC で 1.0 に設定している場合、
接続されると UAC1 表示







3 再生ソフトで音源を再生します。

4 「音量調節つまみ」を回して音量を調節します。

1、ハイレゾ音源を再生する

DSD音源またはハイレゾPCM音源を再生するには、それらに対応した再生ソフトが必要です。

・Windowsパソコンをお使いの場合
ASIO対応の再生ソフト：高音質インターフェイスのASIO(Audio Stream Input Output)に対応した再生ソフト(Foobar2000、JRiver Media Center、Audirvana、Music Center for PCなど)を入手して再生してください。

・Macをお使いの場合
市販の再生ソフト(JRiver Media Center、Audirvanaなど)をお使いください。

2、foobar2000 について（Windows パソコン）

foobar2000 は Windows パソコンにてハイレゾ音源を高音質に再生できるフリーソフトウェアの音楽プレーヤーです。PCM 音源だけでなく、追加コンポーネントをインストールすることで、DSD 音源をネイティブ（PCM 変換せずに）再生することができます。

※foobar2000 は SOUND WARRIOR の製品ではありません。

1 専用ドライバーをインストールする
「Windowsパソコンの設定をする」を参照してください。

2 foobar2000 をインストールする
foobar2000 の最新版は公式サイトからダウンロードできます。
最新の安定版（"Latest stable version"）をダウンロードおよびインストールしてください。
http://www.foobar2000.org/download

3 コンポーネントを追加する
foobar2000 に再生に必要なコンポーネントを追加します。

1. foobar2000 からダウンロードできます
http://www.foobar2000.org/components/view/foo_out_asio
・ASIO Output（foo_out_asio）

2. SOURCE FORGE からダウンロードできます。
https://sourceforge.net/projects/sacddecoder/files/
・Super Audio CD Decoder download（foo_input_sacd）

4 foobar2000 を設定する
設定に関しては、SOUND WARRIOR WEB サイトの「取扱説明書 / ドライバー」ページより、foobar2000 および追加コンポーネントのダウンロードや設定等の手順の PDF がダウンロードできます。
https://soundwarrior.jp/dlm-sed/

foobar2000 の詳細な使用方法やトラブルシューティングには、雑誌やインターネットなどの情報をご活用ください。

3、ハイレゾではない音源の再生（Windows パソコン）

ASIO 非対応の再生ソフトによる音楽再生や、ブラウザによるストリーミング再生を行う場合は、Windows のサウンド設定を行ってください。
foobar2000 などの ASIO に対応した再生ソフトをお使いの場合、設定は不要です。

1 **本機を Windows パソコンに USB ケーブルで接続し、電源を入れます。**

スタートメニューから、[Windows システム ツール] の、[コントロール パネル] を開きます。



2 「ハードウェアとサウンド」を開きます。



3 「 サウンド」を開きます。



4 「SWD-BA30」に✓マークが表示され、既定のデバイスとなっていることを確認してください。

※「既定のデバイス」になっていない場合は、「スピーカー SWD-BA30」を右クリックし、「既定のデバイスとして設定」を選択してください。



5 「スピーカー SWD-BA30」をダブルクリックします。または、右クリックメニューから「プロパティ (P)」を選びます。

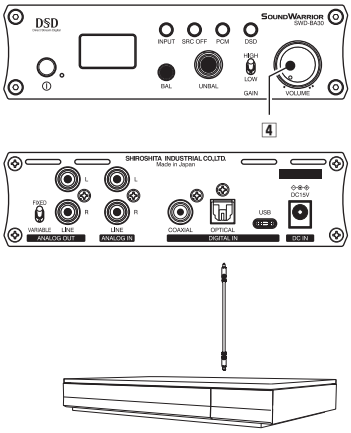


6 「スピーカーのプロパティ」ダイアログが開きます。「詳細」タブを開き、お好みの量子化ビット数とサンプリング周波数を選んでください。



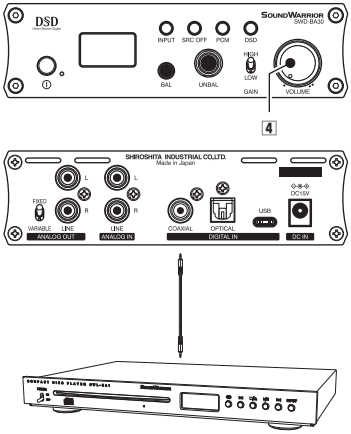
外部機器で再生する

● OPTICAL



1. 本機の「電源スイッチ」を押します。
2. 「INPUTボタン」を押して、ディスプレイに「Opt」が表示されるように選択します。
3. OPTICAL入力端子に接続した外部機器を操作します。
   ※デジタル音源を正しく受信している場合はサンプリング周波数が表示されます。無信号時または信号が正しく受信できていない場合はNo Inputが表示されます。
4. 「音量調節つまみ」を回して音量を調節します。

● COAXIAL



1. 本機の「電源スイッチ」を押します。
2. 「INPUTボタン」を押して、ディスプレイに「Coax」が表示されるように選択します。
3. COAXIAL入力端子に接続した外部機器を操作します。
   ※デジタル音源を正しく受信している場合はサンプリング周波数が表示されます。無信号時または信号が正しく受信できていない場合はNo Inputが表示されます。
4. 「音量調節つまみ」を回して音量を調節します。

入力音声信号について

本機が対応しているのはリニア PCM 信号（LPCM）です。AC-3 や DTS など、リニア PCM 信号以外の信号は認識できません。ご使用のオーディオ機器の設定をご確認ください。

Emph表示について

OPTICALまたはCOAXIALを選択中、プリエンファシスが検出されると「Emph」と表示されます。

【例】



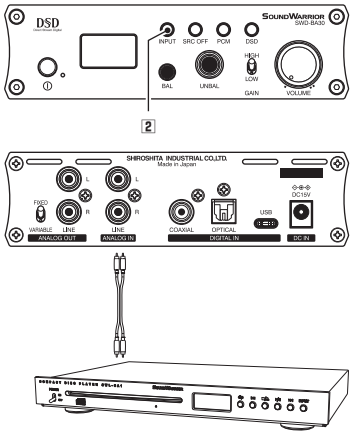
● LINE

1 本機の「電源スイッチ」を押します。

2 「INPUTボタン」を押して、ディスプレイに「LINE」が表示されるように選択します。

3 LINE入力端子に接続した外部機器を操作します。

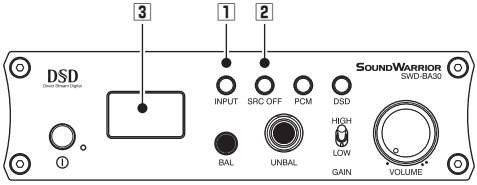
4 「音量調節つまみ」を回して音量を調節します。



サンプリング周波数およびフォーマット

本機は、PCM ／ DSD 変換機能付きの SRC（サンプリングレートコンバーター）を搭載しています。サンプリング周波数を変えたり、PCM から DSD へ、DSD から PCM へとフォーマットを変換したりしてお楽しみいただけます。

1、SRC OFF モード



入力されたデジタル音源をそのまま再生します。
内蔵のSRC(サンプリングレートコンバーター)を経由せずに、入力されたデジタル音源をそのままD/A変換します。サンプリング周波数やフォーマットは変わりません。

1 「INPUTボタン」を押し、入力ソースを選びます。「INPUTボタン」を押すたびに、ディスプレイ表示が「USB」「Opt」「Coax」と順に切り替わります。接続した外部機器に対応する入力を選択してください。

2 「SRC OFFボタン」を短押し、「SRC OFFモード」にします。

3 ディスプレイに入力ソースのサンプリング周波数とデジタル音声フォーマットが表示されます。

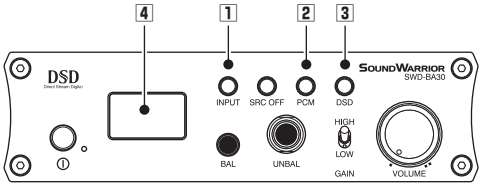
1. 入力ソース	
2. 入力サンプリング周波数	3.USB 入力形式

1. 再生する入力ソース（外部機器の接続先）
2. 再生する入力ソースのサンプリング周波数
3. デジタル音声フォーマット
※USB 接続の場合のみ表示

【例】



2、SRC（サンプリングレートコンバート）モード



入力されたデジタル音源のサンプリング周波数を変更、または PCM/DSD 相互変換します。
内蔵の SRC（サンプリングレートコンバーター）を経由したデジタル音源を D/A 変換し、サンプリング周波数の変換、PCM ／ DSD 相互変換をします。

1 「INPUTボタン」を押し、入力ソースを選びます。「INPUTボタン」を押すたびに、ディスプレイ表示が「USB」「Opt」「Coax」と順に切り替わります。接続した外部機器に対応する入力を選択してください。

2 「PCM ボタン」の短押しで PCM フォーマットでのアップサンプリングを行います。ボタンを押すごとに下記の順にサンプリング周波数が上がります。
44.1k → 48k → 88.2k → 96k → 176.4k →192k → 352.8k → 384k

3 「DSD ボタン」の短押しで PCM フォーマットを DSD フォーマットに変換します。ボタンを押すごとに下記の順にサンプリング周波数が上がります。
2.8M → 5.6M → 11.2M

4 ディスプレイの上段に入力ソースが表示されます。
・2段目に入力ソースのサンプリング周波数とデジタル音声フォーマットが表示されます。
・3段目にサンプリングコンバート後のサンプリング周波数とデジタル音声フォーマットが表示されます。

1. 入力ソース	
2. 入力サンプリング周波数	3.USB 入力形式
4.SRC 設定サンプリング周波数	5.SRC 形式

1. 再生する入力ソース（外部機器の接続先）
2. 再生する入力ソースのサンプリング周波数
3. デジタル音声フォーマット　※USB 接続の場合のみ表示
4. 変換後のサンプリング周波数
5. デジタル音声フォーマット変換後のフォーマット

【例】



入力ソース：USB

入力：44.1k、　PCM
SRC：352.8k、PCM

【例】



入力ソース：USB

入力：44.1k、PCM
SRC：2.8M、DSD

SRC モード対応表

INPUT ＼ SRC		サンプリングレートコンバーター設定サンプリング周波数					
		PCM 44.1k	PCM 48k	PCM 88.2k	PCM 96k	PCM 176.4k	PCM 192k
入力サンプリング周波数	PCM 44.1 kHz	■	○	○	○	○	○
	PCM 48 kHz	■	■	○	○	○	○
	PCM 88.2 kHz	■	■	■	○	○	○
	PCM 96 kHz	■	■	■	■	○	○
	PCM 176.4 kHz	■	■	■	■	■	○
	PCM 192 kHz	■	■	■	■	■	■
	PCM 352.8 kHz	■	■	■	■	■	■
	PCM 384 kHz	■	■	■	■	■	■
	DSD 2.8 MHz	○	○	○	○	○	○
	DSD 5.6 MHz	○	○	○	○	○	○
	DSD 11.2 MHz	○	○	○	○	○	○

INPUT ＼ SRC		サンプリングレートコンバーター設定サンプリング周波数				
		PCM 352.8k	PCM 384k	DSD 2.8M	DSD 5.6M	DSD 11.2M
入力サンプリング周波数	PCM 44.1 kHz	○	○	○	○	■
	PCM 48 kHz	○	○	○	○	■
	PCM 88.2 kHz	○	○	○	○	■
	PCM 96 kHz	○	○	○	○	■
	PCM 176.4 kHz	○	○	○	○	○
	PCM 192 kHz	○	○	○	○	○
	PCM 352.8 kHz	■	○	○	○	○
	PCM 384 kHz	■	■	○	○	○
	DSD 2.8 MHz	○	○	■	○	○
	DSD 5.6 MHz	○	○	■	■	○
	DSD 11.2 MHz	○	○	■	■	■

○: 設定可能です。

■: 音質劣化のため非推奨です。

選択できるサンプリングレート・フォーマットには一部制限があります。

3、サンプリング周波数変換の注意点

1、サンプリングレート変換が設定不可の場合の表示

「PCM」ボタンまたは「DSD」ボタンで設定したサンプリング周波数が、入力ソースのサンプリング周波数以下の場合、一時的に SRC を無効にして音声を出力します。またこの時、ディスプレイの SRC 設定（サンプリング周波数、デジタル音声フォーマット）の表示は点滅します。

【例】



入力ソース：USB

入力：192k、PCM
SRC：44.1k、PCM　←表示が点滅します。

2、DSD 変換時の曲間ノイズについて

PCM から DSD へ変換中、曲間の無音部分でノイズが発生する場合があります。

3、サンプリング周波数変換時の音質劣化について

サンプリング周波数変換の設定は、入力サンプリング周波数より高くなるようにしてください。入力サンプリング周波数より低いサンプリング周波数に変換（ダウンサンプリング）すると音質が劣化します。

DSD11.2M への変換：PCM から DSD11.2M へ変換する際は、サンプリング周波数 176.4k 以上の音源を入力してください。176.4k 未満の音源を DSD11.2M に変換すると、音質が劣化することがあります。

4、ダウンサンプリングについて

設定モードで「Down Sample」を「Enable」に設定すると、音質劣化の条件に関わらずサンプリング周波数変換を行います。この場合、ディスプレイの SRC 設定（サンプリング周波数、デジタル音声フォーマット）の表示は点滅しません。

設定

1 SRC OFF ボタンを約 2 秒押し続けると、各種機能を設定できる設定モードになります。
2 SRC OFF ボタンを押すごとに設定項目が切り替わります。
3 PCM ボタン（前に戻る）または DSD ボタン（次に進む）で設定値を変更します。
※設定値は電源を切っても記憶されます。

表示	設定項目	設定値
Setting LED Bright 2	**LED Bright** 電源インジケーターの輝度	0（消灯）、1（暗い）～20（明るい）の間で変更します。
Setting Disp Bright 80	**Disp Bright** ディスプレイの輝度	0（暗い）～100（明るい）の間で変更します。
Setting Screen Saver Display Off	**Screen Saver** スクリーンセーバー	Display Off：最後の操作から約 10 分後にディスプレイ表示が消えます。 ON：最後の操作から約 1 時間後にスクリーンセーバーが起動します。 OFF：スクリーンセーバーを無効にします。
Setting UAC 2.0	**UAC** USB Audio Class の変更	2.0：USB Audio Class2.0 機器として動作します。 1.0：USB Audio Class1.0 機器として動作します。 PCM44.1kHz～48kHz の再生にのみ対応します。 Nintendo Switch と USB 接続する場合に選択してください。
Setting S/PDIF Sync OFF	**S/PDIF SYNC** S/PDIF 入力時の DAC 同期モード	SRC OFF、S/PDIF 入力時の DAC のクロックを選択します。 OFF：内蔵クロック（水晶発振器）（初期値） ON：S/PDIF 同期（S/PDIF リカバリクロック）
Setting Down Sample Disable	**Down Sample** 音質が劣化するサンプリング周波数変換の有効／無効	Disable：音質が劣化する条件の場合は SRC を無効化して音声出力します。（初期値） Enable：音質劣化の条件に関わらずサンプリング周波数変換を行います。
Setting DPLL BW PCM 5	**DPLL BW PCM** PCM 再生時または PCM 変換時の DAC DPLL 帯域幅の変更	SRC OFF で PCM を再生時または PCM 変換時に音声が途切れる場合は、設定値を大きくしてください。 0（高音質）～15（音切れしにくい）の間で変更します。
Setting DPLL BW DSD 10	**DPLL BW DSD** DSD 再生時または DSD 変換時の DAC DPLL 帯域幅の変更	SRC OFF で DSD を再生時または DSD 変換時に音声が途切れる場合は、設定値を大きくしてください。0（高音質）～15（音切れしにくい）の間で変更します。
Setting DA Attenuator -0.0dB	**DA Attenuator** デジタル入力時のアナログ出力音声レベル	音量レベルを変更します。
Setting LR Balance L R 0.0 0.0	**LR Balance** デジタル入力時のアナログ出力左右バランス	設定範囲は -20.0dB ～ 0.0dB です。

お困りのときは

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。
対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、販売店にご相談ください。

■ 電源が入らない または 電源が勝手に切れる

原因として主に考えられること	対処方法
AC アダプターの接続に異常がある。	ACアダプターを確実に接続してください。
付属のACアダプター以外の電源を使用している。	付属のACアダプターまたは指定の電源を使用してください。

■ Coax ／ Opt 選択時に No Input 表示になる

原因として主に考えられること	対処方法
ケーブルの接続に異常がある。	デジタルオーディオケーブルを確実に差し込んでください。 ケーブルに断線等がないか確認してください。
音源に異常がある。または設定が異なっている。	1)音源となる機器の動作状態を確認してください。
	2)入力信号がS/PDIF規格であることを確認してください。

■ USB 選択時に No Input が表示される

原因として主に考えられること	対処方法
USBの接続に問題がある。	USBケーブルの接続を確認してください。

※正しくお使いの場合でも、パソコンの機種や環境によっては正常に使用できないことがあります。

■ パソコンから正しく認識されない

原因として主に考えられること	対処方法
USBが応答を停止している。	1)USBケーブルを一度抜き、再度接続し直してください。
	2)USBケーブルを抜き、パソコンと本機を再起動後に再度接続し直してください。
	3)別のUSB端子への接続をお試しください。
ドライバーが正しくインストールされていない。	USBケーブルを抜き、ドライバーをアンインストールしてください。 PCを再起動後、もう一度ドライバーをインストールしてください。 （インストール完了まで本機をパソコンに接続しないでください。）

■ サンプリング周波数の表示が音源のサンプリング周波数と違う（Windows の場合）

原因として主に考えられること	対処方法
ASIOドライバーが有効になっていない。	再生ソフトの出力デバイス設定を「SIC USB Audio」に設定してください。Windowsのオーディオエンジン（Direct Sound等）が有効になっている場合、サンプリング周波数はWindowsのサウンド設定が適用されます。
ASIO非対応の再生ソフトで再生している。	ASIO対応の再生ソフトをお使いください。その際、出力デバイス設定は「SIC USB Audio」に設定してください。
ブラウザでストリーミング再生している。	ブラウザはASIO非対応です。サンプリング周波数は、Windowsのサウンド設定で変更してください。

■ サンプリング周波数の表示が音源のサンプリング周波数と違う（Mac の場合）

原因として主に考えられること	対処方法
再生ソフトがサンプリング周波数の自動切り替えに対応していない。ストリーミング再生している。	サンプリング周波数の自動切り替えに対応した再生ソフトをお使いください。 または、Audio MIDI設定でサンプリング周波数を変更してください。
ブラウザでストリーミング再生している。	Audio MIDI設定でサンプリング周波数を変更してください。

■ USB 入力で再生中に音が途切れる

原因として主に考えられること	対処方法
Windows アップデートが行われている。	Windows アップデートが完了してから再生してください。
USBケーブルが長い。	長さが2m以下のUSBケーブルをお使いください。
ネットワークに問題がある。	音源をNASなどに保存している場合は、 ネットワーク環境に問題がないかご確認ください。 無線LANで接続している場合は有線で接続してください。

商標について

DSD は、ソニー株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

Mac、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.

Nintendo Switch は任天堂の商標です。

“Music Center for PC”および“Music Center”は、ソニー株式会社の商標です。

主な仕様

■ 一般

電源	AC100V 50/60Hz（AC アダプター）、DC15V（本体）
消費電力	18W
外形寸法	W145.4×H40×D165.6mm（突起物含まず）
本体質量	0.72kg
動作温度環境	5℃～ 40℃
付属品	AC アダプター ×1、USB ケーブル（Type-C to Type-C）×1、 光デジタルケーブル ×1、ゴム足 ×4、取扱説明書 ×1

■ デジタル入力

USB 端子	USB Type-C
PCM サンプリング周波数	44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 / 352.8 / 384kHz
PCM 量子化ビット数	16 / 24 / 32 bit
DSD ファイル形式	DSF（.dsf）/ DSDIFF（.dff）
DSD サンプリング周波数	2.8224 / 5.6448 / 11.2896 MHz

・Windows

オペレーティングシステム	Windows 10, 64bit / Windows 11
PCM 転送方式	アイソクロナス転送 アシンクロナス方式（Isochronous 選択時）
DSD 転送方式	DoP、ASIO Native アイソクロナス転送 アシンクロナス方式 (Isochronous 選択時)

・Mac

オペレーティングシステム	macOS Sonoma (14)、macOS Sequoia (15)、macOS Tahoe (26)
PCM 転送方式	アイソクロナス転送 アシンクロナス方式（Isochronous 選択時）
DSD 転送方式	DoP、ASIO Native アイソクロナス転送 アシンクロナス方式 (Isochronous 選択時)

COAXIAL/OPTICAL 端子	RCA ピンジャック / 角型光デジタル (TOS-Link)
信号規格	S/PDIF(IEC-60958)　2ch リニア PCM
サンプリング周波数	44.1 / 48 / 88.2 / 96 / 176.4 / 192 kHz
量子化ビット数	16 / 24 bit

■アナログ出力

LINE 端子	RCA ピンジャック L/R 3.4Vrms (0dBFS 入力)

PHONES 端子

BAL 端子	4.4mm バランスステレオジャック
最大出力	300mW (16Ω　1% 歪) 550mW (40Ω　1% 歪) 360mW (300Ω　1% 歪)
UNBAL 端子	6.3mm ステレオ標準ジャック
最大出力	400mW (16Ω　1% 歪) 560mW (40Ω　1% 歪) 240mW (300Ω　1% 歪)
ヘッドホン適合インピーダンス	16 ～ 300Ω

仕様や外観は予告なく変更する場合があります。

型番：SWD-BA30
保証期間：ご購入日より 1 年

保 証 規 定

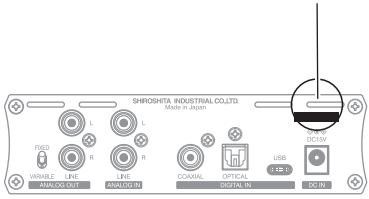
For Japan Only

1、 正規販売店で新品としてご購入された製品が対象となります。
2、 本製品を取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合に限り、保証期間内であれば無償で修理いたします。
3、 次にあげる場合には、保証期間内でも本保証の対象外となります。
   1）取扱上の不注意、誤用による故障および損傷の場合。
   2）お客様による輸送・移動時の落下、衝撃などによる故障、破損の場合。
   3）当社および当社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
   4）火災・地震・水害等の天災地変および異常電圧による故障・損傷の場合。
   5）通常想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
   6）本製品と接続した他の機器に起因して本製品に生じた故障の場合。
   7）譲渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合。
   8）識別ラベル、シリアル番号、または安全ラベルが除去または変更された場合。
   9）製品購入日（保証開始日）と販売店が分かる書類（レシート・納品書等）のご提示がない場合。
4、 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責を負わないものとします。
5、 消耗・摩耗した部品、その他の付属品および本製品に接続したソフトウェアやデータなどは保証いたしかねます。
6、 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
7、 本保証は日本国内においてのみ（本製品が日本国内で購入され、日本国内で使用された場合においてのみ）有効です。
   This Warranty only applies to Products purchased and used in Japan.

● 製品のシリアル番号をお確かめの上、下記の欄にご記入ください。

シリアル番号

シリアル番号ラベル:本体背面の右側



ホームページのサポートページには
よくある質問（FAQ）などが掲載されています。
https://soundwarrior.jp/support/

アフターサービス

製品についてのご相談や修理のご依頼は、お買い上げの販売店にご相談ください。お困りの場合は公式サイトからメールをお送りいただくか、またはお電話でお問い合わせください。

■メールでのお問い合わせ　https://soundwarrior.jp/contact/

お問い合わせ

■お問い合わせ窓口(城下工業)　TEL: 03-6801-5355　平日10時～17時 （土日祝祭日を除く）

1、保証期間中の修理をご希望の際は、製品購入日がわかる書類(レシートや領収書)をご提示の上、下記の事項を添えてお買い上げの販売店にご依頼ください。● 型番、シリアル番号(上記イラストを参照)、氏名、電話番号、住所、メールアドレス、故障状況とご使用の環境
2、保証期間が過ぎ修理が可能な場合は、有償にて承ります。お買い上げの販売店へご相談ください。

SOUNDWARRIOR
https://soundwarrior.jp/

製造元
SHIROSHITA 城下工業株式会社
SHIROSHITA INDUSTRIAL CO.,LTD.
〒386-0015　長野県上田市常入 1-1-58

Printed In Japan
18QA0422BN